



学校だより

令和6年度 6月号

学校教育目標

夢の実現へ めあてをもって
自ら学ぶ子

市川市立大和田小学校



「よく見えています」

校長 黒田洋子

市川市は、昭和9年(1934年)11月3日に千葉県3番目の市として誕生しました。市川市では、令和6年に市制施行90周年を迎えることを記念したロゴ・キャッチフレーズ・テーマソングを決定し、市川市全体に広く周知を図り、90周年を盛り上げていく予定です。詳細は下記をご覧ください。

その取り組みの一つである缶バッジを私は4月に手に入れたので、子どもたちに説明することもなく、学校で着用する名札につけていました。数名の児童に「何、これ?」と聞かれ、「市川の90周年の

缶バッジだよ、今年中にももらえるよ」というととてもうれしそうにしていました。すると、ある子が「ここにいる動物は、レッサーパンダとコツメカワウソだよ」というので、「なぜ、わかるの?」と聞くと「『いちかわかるた』に市川市動物園の動物たちがのっていたもん」との答え。早速、校長室に戻り、「いちかわかるた」のとり札を見ると…いました!写真ではわかりにくいですが、左

ロゴ入り缶バッジ



下に動物の名前が小さく記載されています。その情報を使い、缶バッジの動物名がしっかりわかるなんて、子どもってよく見ている、すごいな、と改めて感じました。



生活目標

安全に生活してけが0をめざそう

<みんなで缶バッジプロジェクト>

市制施行90周年を盛り上げるための市川市の取り組みとして、キャッチフレーズは「わくわくするまち いちかわ」、テーマソングは「気球にのってどこまでも」です。さらに、ロゴ入りの「90周年記念缶バッジ」が市内小学生に配付されます。このロゴですが、新た冒険や未知の世界への挑戦を連想させる気球をモチーフに、常に新しい可能性に向けて進む意欲や、チャレンジしていく姿勢を表現しているそうです。

本校では、5月末から缶バッジマシーンが貸与され(各学校 1 週間程度)、高学年から自分の分の缶バッジを製作します。低学年は兄弟グループで製作する予定です。プレスする際にはある程度の力が必要なため、児童の製作が難しい場合は、完成したバッジを配付する予定です。また、市川市の誕生月である11月には、テーマソング「気球にのってどこまでも」を歌う予定です。子どもたち自身が、市川をもっと知るきっかけになればと考えています。

<運動会について>

練習中から、本番まで子どもたちの体調管理等にご協力いただきありがとうございました。おかげさまで、運動会では、子どもたちが全力で取り組み、輝く姿を見ることができました。今年から、始まった「全校大玉送り」や「大和田紅白歌合戦」に、子どもたちも楽しんで取り組んでいました。久しぶりの全校大玉送りは、子供たちも張り切って参加し、応援も盛り上がりました。来年度は、2・3回戦やりたいなど感じました。また、歌合戦で歌った「ゴーゴーゴー!」は音楽の授業でも練習していたため、とてもきれいな歌声で気持ちよさそうに歌っていました。大和田小の子どもたち、本当に歌がうまいです。♪



運動会の裏話

「強風が吹いたら…、どうしよう?」

最近では、運動会中の突風でテントが飛ぶなどのニュースもあり、風が強いのは、運動会にとっては、熱中症と同時に、心配ごとの一つでした。特に、今回、4年生が挑戦した表現運動では、傘を使用しました。その傘が、かなり壊れやすく、強風だったら、傘が壊れたり飛んだりという可能性が高まるので、「どうか、強風はふかないで…」と祈っていました。実は、1年生も、帽子をかぶっていたので、風がつよいと表現運動がかなり大変になると思っていたそうです。当日は、お天気もよく、そよそよとした風が吹いていました。お天気にも恵まれ、また、保護者の方の暑さ対策のご協力もあり、体調不良の児童もほとんどいませんでした。ご協力に感謝します。



使用しました。その傘が、かなり壊れやすく、強風だったら、傘が壊れたり飛んだりという可能性が高まるので、「どうか、強風はふかないで…」と祈っていました。実は、1年生も、帽子をかぶっていたので、風がつよいと表現運動がかなり大変になると思っていたそうです。当日は、お天気もよく、そよそよとした風が吹いていました。お天気にも恵まれ、また、保護者の方の暑さ対策のご協力もあり、体調不良の児童もほとんどいませんでした。ご協力に感謝します。

◇学校運営協議会について(第1回…5月23日に開催しました)

学校運営協議会とは、家庭・学校・地域がともに手を携えて学校運営に参画し、一体となって質の高い教育を提供し、「地域とともにある学校づくり」を目指す仕組みです。また、協議会は年に4回を予定しております。会議の詳細は、「学校運営協議会便り」をご覧ください。

【R6年度 新規委員一覧】

※敬称略

八幡南口町会副会長	清水 輝和
京葉ガス てらす	高橋 範行
大和田小学校 PTA 会長	阿部 欽一
地域学校協働活動推進員	前田 則子
白菊幼稚園 園長	山崎 一範
本校 地域連携主任	稲葉 淳



<6月学校評価について>

令和6年度は、第4期教育振興基本計画の初年度となり、市川の目指す子ども像は「互いに認め合い、自分の思いを表現する子ども」です。今回の教育振興計画は「可能性を引き出す」「学びを保障する」「学びの環境を整備する」の3本柱となっています。今までも、市川では、「個に応じた指導」を工夫し、成果を上げてきましたが、さらに子ども主体の学びを目指し、「一人ひとりの可能性を引き出せる学び」となるような授業スタイルを模索していくこととなりました。

このため、保護者向けの学校評価の項目も、市川の教育振興計画に合わせ、市の共通項目が変わりました。また、5、6年生にも学校評価をとり、学校教育に活かしていくこととなりました。学校評価の回数は、今までと同じ年2回で、1回目が6月となります。ぜひ、ご協力をお願いいたします。